



Cloud Volumes ONTAP
システムとオンプレミスの ONTAP
システムのバックアップの管理
Cloud Manager

Tom Onacki
May 05, 2021

目次

Cloud Volumes ONTAP システムとオンプレミスの ONTAP システムのバックアップの管理	1
バックアップしているボリュームを表示します	1
スケジュールとバックアップの保持期間を変更する	1
ボリュームのバックアップの開始と停止	2
各ボリュームのバックアップリストを表示します	3
バックアップを削除する	5
作業環境での Cloud Backup の無効化	9

Cloud Volumes ONTAP システムとオンプレミスの ONTAP システムのバックアップの管理

Cloud Volumes ONTAP システムとオンプレミス ONTAP システムのバックアップの管理では、バックアップスケジュールの変更、ボリュームのバックアップの有効化 / 無効化、バックアップの削除などを行うことができます。

バックアップしているボリュームを表示します

バックアップダッシュボードには、現在バックアップ中のすべてのボリュームのリストが表示されます。

手順

1. [バックアップと復元 *] タブをクリックします。
2. [バックアップ*] タブをクリックすると、[バックアップダッシュボード]が表示されます。



特定の作業環境で特定のボリュームを検索する場合は、作業環境とボリュームに基づいてリストを絞り込むか、検索フィルタを使用できます。

スケジュールとバックアップの保持期間を変更する

デフォルトポリシーでは、毎日ボリュームがバックアップされ、各ボリュームの最新の 30 個のバックアップコピーが保持されます。日単位、週単位、または月単位のバックアップを組み合わせ、保持するバックアップコピーの数を変更することができます。また、3 カ月、1 年、7 年のバックアップをスケジュールするシステム定義のポリシーを選択することもできます。

バックアップポリシーを変更すると、スケジュールの変更後に作成される新しいボリュームと元のポリシーを使用していた既存のボリュームの両方に影響します。

手順

1. バックアップダッシュボードで、* バックアップ設定 * を選択します。



ボタンを示すスクリーンショット。"]

2. _ バックアップ設定ページ _ で、をクリックします ... アイコン"] 設定を変更する作業環境で、 * ポリシーの変更 * を選択します。



ボタンを示すスクリーンショット。"]

3. [ポリシーの変更] ページで、スケジュールとバックアップの保持期間を変更し、[保存] をクリックします。

Modify Policy

Backup Policy

☒ Create a New Policy
 ☐ Select an Existing Policy

☒ Daily
 Number of backups to retain

☐ Weekly
 Number of backups to retain

☐ Monthly
 Number of backups to retain

DP Volumes

Data protection volume backups use the same retention period as defined in the source SnapMirror relationship by default. Use the API if you want to change this value

S3 Bucket

Cloud Manager will create the S3 bucket after you complete the wizard

ボリュームのバックアップの開始と停止

ボリュームのバックアップコピーが不要で、バックアップの格納コストを抑える必要がない場合は、ボリュームのバックアップを停止できます。新しいボリュームがバックアップ中でない場合は、バックアップリストに追加することもできます。

手順

1. バックアップダッシュボードで、* バックアップ設定 * を選択します。



ボタンを示すスクリーンショット。"]

2. _ バックアップ設定ページ _ で、をクリックします ... アイコン"] 作業環境では、* ボリュームの管理 * を選択します。



ページの [ボリュームの管理] ボタンを示すスクリーンショット。"]

3. バックアップを開始するボリュームのチェックボックスを選択し、バックアップを停止するボリュームのチェックボックスを選択解除します。

57 Volumes 25 Selected Volumes						
<input type="checkbox"/>	Volume Name	Volume Type	SVM Name	Used Capacity	Allocated Capacity	Backup Status
<input type="checkbox"/>	Volume_1	RW	SVM_1	2.25 TB	10 TB	Active
<input type="checkbox"/>	Volume_2	RW	SVM_1	2.25 TB	10 TB	Not Active
<input checked="" type="checkbox"/>	Volume_3	RW	SVM_1	2.25 TB	10 TB	Not Active
<input type="checkbox"/>	Volume_4	DP	SVM_2	2.25 TB	10 TB	Active

4. [保存 (Save)] をクリックして、変更をコミットします。

。注意： * ボリュームのバックアップを停止すると、バックアップが停止します オブジェクトの料金はクラウドプロバイダが継続的に負担します を除いて、バックアップが使用する容量のストレージコスト あなた バックアップを削除します。

各ボリュームのバックアップリストを表示します

各ボリュームに存在するすべてのバックアップファイルのリストを表示できます。このページには、ソースボ

リユーム、デスティネーションの場所、および前回作成されたバックアップ、現在のバックアップポリシーなどのバックアップの詳細が表示されます。

このページでは、次のタスクも実行できます。

- ボリュームのすべてのバックアップファイルを削除します
- ボリュームの個々のバックアップファイルを削除する
- ボリュームのバックアップレポートをダウンロードします

手順

1. バックアップダッシュボードで、をクリックします **...** アイコン"] をソースボリュームとして選択し、 * Details & Backup List * を選択します。

The screenshot shows a web interface for backup management. At the top, there are tabs for 'Backup' and 'Restore'. Below them is a dropdown menu labeled 'All Backup Working Environments' and a 'Backup Settings' button. The main dashboard area displays three summary cards: '1 Working Environments', '57 Protected Volumes', and '15.1 TB Total Backup Capacity'. To the right, a 'Protected Volumes Status' section shows '57 Healthy Backup Volumes' and '0 Failed Backup Volumes'. Below these is a section titled '57 Backups' with a search icon. A table lists backup details with columns: 'Source Working Environment', 'Source Volume', 'Source SVM', 'Last Backup', 'Backups', and 'Backup Status'. The first three rows show 'CVO_AWS' as the source environment, 'Source Volume Name' as the volume, 'Source SVM Name' as the SVM, and 'May 22 2019, 00:00:00' as the last backup time. The 'Backups' column shows '2,050 Backups' for each. The 'Backup Status' column shows 'Active' with a green checkmark. A context menu is open over the first row, showing 'Details & Backup List' (highlighted with a red box) and 'Pause'.

Source Working Environment	Source Volume	Source SVM	Last Backup	Backups	Backup Status
CVO_AWS On	Source Volume Name On	Source SVM Name	May 22 2019, 00:00:00	2,050 Backups	Active
CVO_AWS On	Source Volume Name On	Source SVM Name	May 22 2019, 00:00:00	2,050 Backups	
CVO_AWS On	Source Volume Name On	Source SVM Name	May 22 2019, 00:00:00	2,050 Backups	

ボタンを示すスクリーンショット"]

すべてのバックアップファイル（ Snapshot ）のリストと、ソースボリューム、デスティネーションの場所、およびバックアップの詳細が表示されます。



Source

Working Environment	Working Environment N...
Type	Cloud Volumes ONTAP (HA)
Provider	AWS
Volume	Volume Name
SVM	SVM Name



Destination

Cloud Provider	AWS
Bucket	Backup Bucket Name
Region	US East (N. Virginia)
Account ID	012345678901234567890



Backup Information

Relationship Status	Failed
Last Backup	May 22 2019, 00:00:00
Lag Duration	28 days ago
Backups	2,050
Backup Policy	Netapp7YearsRetention

2,050 Snapshots

Select Timeframe

Actions

Snapshot Name	Date	
Snapshot Very Long Name	May 22 2019, 00:00:00	...
Snapshot Very Long Name	May 22 2019, 00:00:00	...
Snapshot Very Long Name	May 22 2019, 00:00:00	...

バックアップを削除する

Cloud Backup では、1 つのバックアップファイルを削除したり、ボリュームのすべてのバックアップを削除したり、作業環境内のすべてのボリュームのすべてのバックアップを削除したりできます。すべてのバックアップを削除するのは、不要になった場合やソースボリュームを削除したあとにすべてのバックアップを削除する場合などです。

すべてのバックアップを削除しても、このボリュームまたは作業環境の以降のバックアップは無効になりません。ボリュームのバックアップの作成を停止するには、バックアップを無効にします [ここで説明するようにします](#)。作業環境ですべてのボリュームのバックアップの作成を停止するには、バックアップを非アクティブ化します [ここで説明するようにします](#)。



バックアップがある Cloud Volumes ONTAP またはオンプレミスの ONTAP システムを削除する場合は、システムを削除する前にバックアップを削除しておく必要があります。システムを削除しても、Cloud Backup はバックアップを自動的に削除しません。また、システムを削除した後でバックアップを削除するための UI で現在サポートされていません。残りのバックアップについては、引き続きオブジェクトストレージのコストが発生します。

作業環境のすべてのバックアップファイルを削除する

手順

1. バックアップダッシュボードで、* バックアップ設定 * を選択します。



ボタンを示すスクリーンショット。"]

2. をクリックします ... アイコン"] すべてのバックアップを削除する作業環境で、 * すべてのバックアップを削除 * を選択します。



ボタンを選択したスクリーンショット。"]

3. 確認ダイアログボックスで、 * 削除 * をクリックします。

ボリュームのすべてのバックアップファイルを削除する

手順

1. バックアップダッシュボードで、をクリックします ... アイコン"] をソースボリュームとして選択し、 * Details & Backup List * を選択します。



ボタンを示すスクリーンショット"]

すべてのバックアップファイル（ Snapshot ）のリストが表示されます。

The screenshot displays the NetApp backup dashboard with three main sections: Source, Destination, and Backup Information.

- Source:** Working Environment (Working Environment N...), Type (Cloud Volumes ONTAP (HA)), Provider (AWS), Volume (Volume Name), SVM (SVM Name).
- Destination:** Cloud Provider (AWS), Bucket (Backup Bucket Name), Region (US East (N. Virginia)), Account ID (012345678901234567890).
- Backup Information:** Relationship Status (Failed), Last Backup (May 22 2019, 00:00:00), Lag Duration (28 days ago), Backups (2,050), Backup Policy (Netapp7YearsRetention).

Below these sections is a table titled "2,050 Snapshots" with columns for Snapshot Name and Date. The table lists three snapshots, each with the name "Snapshot Very Long Name" and the date "May 22 2019, 00:00:00". Each row has a three-dot menu icon on the right.

2. [* アクション * > * すべてのスナップショットを削除 *] をクリックします。

This screenshot shows the same dashboard as the previous one, but with the "Actions" menu open. The menu has two options: "Delete All Snapshots" (highlighted with a red box) and "Download Backup Report". A mouse cursor is pointing at the "Delete All Snapshots" option.

3. 確認ダイアログボックスで、ボリューム名を入力し、 * 削除 * をクリックします。

ボリュームの単一のバックアップファイルを削除する

バックアップファイルは 1 つだけ削除できます。この機能は、ONTAP 9.8 以降のシステムでボリューム・バックアップを作成した場合にのみ使用できます。

手順

1. バックアップダッシュボードで、をクリックします **... アイコン**] をソースボリュームとして選択し、 * Details & Backup List * を選択します。

Backup Restore

All Backup Working Environments

Backup Settings

1 Working Environments | 57 Protected Volumes | 15.1 TB Total Backup Capacity

Protected Volumes Status

57 Healthy Backup Volumes | 0 Failed Backup Volumes

57 Backups

Source Working Environment	Source Volume	Source SVM	Last Backup	Backups	Backup Status
aws CVO_AWS On	Source Volume Name On	Source SVM Name	May 22 2019, 00:00:00	2,050 Backups	Active
aws CVO_AWS On	Source Volume Name On	Source SVM Name	May 22 2019, 00:00:00	2,050 Backups	Details & Backup List
aws CVO_AWS On	Source Volume Name On	Source SVM Name	May 22 2019, 00:00:00	2,050 Backups	Pause

ボタンを示すスクリーンショット"]

すべてのバックアップファイル（ Snapshot ）のリストが表示されます。

Source

Working Environment Working Environment N...

Type Cloud Volumes ONTAP (HA)

Provider AWS

Volume Volume Name

SVM SVM Name

Destination

Cloud Provider AWS

Bucket Backup Bucket Name

Region US East (N. Virginia)

Account ID 012345678901234567890

Backup Information

Relationship Status Failed

Last Backup May 22 2019, 00:00:00

Lag Duration 28 days ago

Backups 2,050

Backup Policy Netapp7YearsRetention

2,050 Snapshots

Select Timeframe

Actions

Snapshot Name	Date
Snapshot Very Long Name	May 22 2019, 00:00:00
Snapshot Very Long Name	May 22 2019, 00:00:00
Snapshot Very Long Name	May 22 2019, 00:00:00

2. をクリックします ... アイコン"] 削除するボリューム Snapshot について、 * Snapshot の削除 * をクリックします。



3. 確認ダイアログボックスで、* 削除 * をクリックします。

作業環境での Cloud Backup の無効化

作業環境で Cloud Backup を無効にすると、システム上の各ボリュームのバックアップが無効になり、ボリュームをリストアすることもできなくなります。既存のバックアップは削除されません。

クラウドから引き続き課金されます が提供する容量のオブジェクトストレージコストのプロバイダ バックアップは自分以外で使用します [バックアップを削除します](#)。

手順

1. バックアップダッシュボードで、* バックアップ設定 * を選択します。



ボタンを示すスクリーンショット。"]

2. _ バックアップ設定ページ _ で、をクリックします ... アイコン"] バックアップを無効にする作業環境で、* バックアップを非アクティブ化 * を選択します。



3. 確認ダイアログボックスで、* Deactivate * をクリックします。

Copyright Information

Copyright © 2021 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.